

5. 整備方針

「親しみ国道33号」の主たる休憩施設の整備方針を次のように設定した。

- 「眺望地点、観光良好地点における休憩施設の新設」
- 「地域における施設整備等の隣接地点における駐車場整備」
- 「大規模な残地における駐車場整備」
- 「敷地の空間機能を明確にする整備」

6. 整備事業例 ・ ・ ヒメシャラ休憩所

当休憩所は、平成2年度に柳谷村と一体で整備を行ったもので一般国道33号で初めてのポケットパークである。また、「親しみ国道33号」の事業としても最初の施設であり、今後の事業推進に対して重要な役割を持つものである。

柳谷村「ヒメシャラ休憩所」は高知市と松山市のほぼ中間に位置し、険しい山岳道路を運転してきたドライバーに対して常時利用できる休憩施設であり、また、ダム湖畔にあり一年中水位が確保された自然豊かな場所にある。

主要施設概要

- | | |
|-----------|----------------------|
| ・ 建築物 | 「レストラン湖畔やなだに」 |
| ・ 自歩道 | 延長120m 幅員2m（樹脂タイル舗装） |
| ・ 駐車枠 | 大型車2台 普通車15台 |
| ・ あずま屋 | ヒメシャラの原木を使用した休憩所 |
| ・ 身障者用トイレ | 1基 |
| ・ その他 | 案内板、照明、大型時計、緑地帯 |

「ヒメシャラ」は柳谷村の村木でもあり、あずま屋に原木を使用している。また、村営「レストラン湖畔柳谷」では食事の他物産センターの役割をもち、ドライバーへのサービス向上と地域振興を担っている。当休憩所の利用状況は交通量に対して約4%程度、利用時間では約60%が10分以内の休憩でありトイレ休憩、眠け覚ましがおもな理由と考えられる。

地元との連携により整備されたヒメシャラ休憩所は平成4年度に「道路人間会議賞」を受賞しその目的と効果を認められた。また、今後も全体計画を基に施設の充実を計っていく予定である。

その他の事業計画として、現在概成している「レストパーク東明神」、計画中の「御三戸地区」、「松山市久谷地区」、「砥部地区」がある。

7. まとめ

今後、一層の増加が予想される観光・レクリエーションには自動車の移動を切り離すとはできず、道路施設に対するレベルの高い整備と管理が要求されている。これらのニーズに応えるべく、今後とも地域との連携を一層密にして自然、環境に配慮した整備を図るとともに既存施設のレベルの高い維持管理を行っていききたい。

